

平成14年度第5回熊本県環境影響評価審査会 議事概要

日時：平成15年1月14日（火）午前10時～午前10時30分

場所：熊本テルサ2階「研修室CD」

出席者

熊本県環境影響評価審査会：今江会長、内山委員、江端委員、古賀委員、西岡委員、
林委員、弘田委員、藤木委員、吉田委員

事務局：熊本県環境生活部環境政策課職員（村山課長補佐、真田課長補佐、坂本参事、
小澤参事、藤山主任主事）

アセス実施者等：熊本県土木部都市計画課（古賀主幹、西岡技師）
熊本駅周辺整備事務所（西田主幹、伊東参事、内村主任主事）
新幹線都市整備総室（野田主幹、笹路参事）
コンサルタント（1人）

議題

熊本都市計画都市高速鉄道九州旅客鉄道鹿児島本線・豊肥本線（連続立体交差事業）
「環境影響評価準備書」について

議事概要

1 事業及びアセスの概要について

審査会事務局（環境政策課）から、今回事業概要の説明並びに熊本県環境影響評価
条例に基づくこれまでの手続きの経過及び今後の手続きの流れについて説明が行われ
た。

2 アセス審査会意見（案）について

「熊本都市計画都市高速鉄道九州旅客鉄道鹿児島本線・豊肥本線（連続立体交差事
業）」に係る環境影響評価準備書に関する熊本県環境影響評価審査会意見（案）に基
づき審議が行われた結果、意見（案）のとおり、審査会意見とすることとされた。
各委員の主な意見等は別紙のとおり。

傍聴者

なし

配布資料

- 1 「熊本都市計画都市高速鉄道九州旅客鉄道鹿児島本線・豊肥本線（連続立体交差
事業）」に関する環境影響評価手続き等について
- 2 「熊本都市計画都市高速鉄道九州旅客鉄道鹿児島本線・豊肥本線（連続立体交差
事業）」に係る環境影響評価準備書」に関する熊本県環境影響評価審査会意見（案）
- 3 「熊本都市計画都市高速鉄道九州旅客鉄道鹿児島本線・豊肥本線（連続立体交差
事業）」に係る環境影響評価準備書」に関する住民等意見の概要

(別紙)

審査会委員の主な意見等

[大気環境]

【委員発言 1】

振動・騒音は、この事業では大きな問題である。後々のことも十分に考えていただくことが重要である。

また、評価書を作成するときにはフォーマットをそろえて書くことで問題点がはっきりと見えてくる。具体化するときは、そのような点にも留意して作成していただきたい。

[動物・植物・生態系]

【委員発言 2】

生物についても、丹念に見ていただくよう話をしていたところである。市街地の事業で生物の種類が多いわけではないが、これからの計画を具体化するにあたって、細かく気をつけて進めていただきたい。

[その他]

【委員発言 3】

アセス図書については、見る側の立場で考えて記述することが必要である。

【委員発言 4】

意見全体をまとめると、このように抽象的な簡単な形になってしまうが、方法書の段階からいろいろと出てきた意見を、よく噛みしめて進めていただきたい。